



あなたのまちの「いいね！」



とっても天気が良い、お出かけ日和な日。お散歩大好きな娘は鮮やかな赤い花の道を楽しそうに歩いていました。

田中保奈美さん
(姫小川町)
場所：油ヶ淵水辺公園
撮影日：4月20日

写真募集中！詳細は市HPへ

サークル紹介！「仲間・汗・生きがい」



健康体操サークル「スマイルクラブ」

総勢36人が介護予防のため、素敵な先生の指導のもと、楽しみながら筋力アップの体操に励んでいます。最年長はなんと86歳！和気あいあいとした雰囲気の中で、無理なく自分のペースでできるのが続けられる秘訣。楽しく笑顔で「貯筋」できます！

サークルDATA

月3回(午後2時～3時30分)／総合福祉センター／月会費500円／入会希望は同センター(☎(77)7888)へ
※10月以降場所・会費の変更の可能性有。



受賞後も普段どおり安祥公民館で陶芸グループを指導

陶芸家・待田和宏さん(68歳・古井町)が第43回日本新工芸展で内閣総理大臣賞を受賞！

待田和宏さんの磁器作品「撓屈『瀝VI』」が、見事、最高賞を受賞しました。昨年10月の日展会員賞に続く受賞です。待田さんは作家活動の傍ら、30年以上にわたり市の講座等で陶芸を指導してきました。生徒数は延べ1200人ということですから、今回の受賞を喜ぶ“教え子”は多いのではないのでしょうか。

生まれも育ちも古井町。大阪芸術大学を卒業し、京都の陶芸家・楠部彌弋の元で修業した後、古井町に戻り陶芸家の道を歩み始めました。待田家の初代・又右工門が享保年間、地元古井神社の瓦焼きを手掛けていたことが近年の神社改修により判明。自身の陶芸家人生は「DNAによるものだったんだね」と笑います。

「安城の土はものすごくいい。そして陶芸を愛する人の多い土地。ここ安城で、陶芸の伝統文化を守り伝えていきたい」。その眼差しはいつも生まれ育った安城に向けられています。

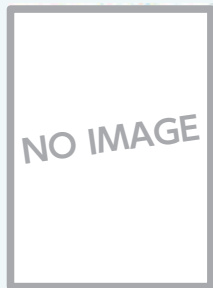


「瀝VI」
(53×31×31cm)

今月のアンフォーレ司書おすすめ本

担当：市川祐子

家族みんな
で読んで
みて！

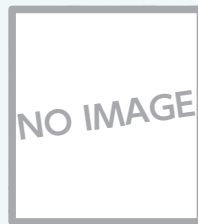


一般向け

「ヤモリの指から不思議なテープ」

松田素子・江口絵理／文
石田秀輝／監修
西澤真樹子／絵
アリス館(2011刊)

超撥水のハスの葉や刺されても痛くない蚊の針等、不思議に思える自然の仕組みを突き詰めたら、すごい発見がありました！自然に学んだ技術の最先端を紹介します。



子ども向け

「ピッツァぼうや」

ウィリアム・スタイグ／作
木坂涼／訳
らんか社(2000刊)

ご機嫌ななめのピートを見て、お父さんは考えました。「そうだ、ピートでピッツァを作ったら楽しくなるかもしれないぞ！」親子で読みたいふれあい遊びの絵本です。

問▶アンフォーレ課(☎(76)6111)